

「高浜市の未来を描く市民会議」(第2回)振り返りシートのとりまとめ結果

① 今、自分のやっている事で、SDGsにつながっているなど感じる事

- 買い物の際マイバックを持参し、袋をもらわない
- 食品ロスを減らす
- 節電、節水
- 毎日のごみの分別、ごみの量を減らす
- 防災活動
- もじ、かず、あそび
- 裏面紙の活用
- まち協、町内会活動等の地域に関わる活動への参加
- 住み続けられる街づくり
- 普段の仕事
- SDGsを考えること
- 無農薬野菜づくり
- なるべく自転車を使う

② SDGsの目標のために今日からできる取組みを考えてみましょう

- 買い物の際マイバックを持参し、袋をもらわない
- 食品ロスを減らす
- 節電、節水
- 毎日のごみの分別、ごみの量を減らす
- 環境問題への取組み
- 募金する
- あいさつ
- なるべく地元の食材を消費して環境に優しい生活を心がける
- 学ぶこと
- 発信力の強化、市民の住みやすい街作り、関連する活動体との交流等と情報交換を強める
- グリーンカーテンをつくる
- 「SDGs」ということばを使うようにする
- 困っている人がいたら声をかける等、まちの人とたくさん話をする
- 他人に勧める
- 市や地域の活動に積極的に参加する
- 自分のできることを考えてみたい
- SDGsを目標するというより、他のことを意識すれば結果SDGsを達成することにつながると思うので、まずは小さいことから始める

③ 目標達成のために、周りの人と一緒にやれるとよいことを考えてみましょう

- 買い物の際マイバックを持参し、袋をもらわない
- 食品ロスを減らす
- 節電、節水
- 毎日のごみの分別、ごみの量を減らす
- 環境問題への取組み
- 募金・寄付する
- あいさつ
- 小さなことから始めてみる。
- 社会のルールを守る
- やりたいことを探す
- SDGsを自分ごととして捉え、意識する、SDGsのことを知ってもらうところから始める
- 優しさの循環が起きるような関係作りを心がける。
- SDGsの考え方を一緒に学ぶ。
- 目的を共通にすることで言語の異なる人たちとも同じ活動ができる
- 目標達成の為、瓦業界の支援
- 多くの人に周知する
- 相手の意図をくみとる
- 活動に参加できる人達の能力把握を強くする
- 先進国のことだけ考えないこと”
- 伝えられた人がまた別の人に伝えるといったサイクルを作る
- 早期教育を進める
- 「オンライン実践講座」、「電子決済講座」「マイナンバー活用講座」などを開く。

④ 高浜市のSDGsを進めていくためにどうしたらよいと思いますか？

- 講師の人の話でもあったが、一部の人がSDGsを意識しても、なかなか大きな変化を起こすことは難しいと思う。もっと多くの人々がSDGsを知り、それを“自分ごと”として捉えられるような働きかけが必要だと感じる。
- 一人でも多くの人を巻き込む
- じっくり考える機会を作る
- 産業、経済→税収up

- 自分にあった SDGs って何だろうというフローチャートアプリがあったら便利かも
- 教育、子育て環境の充実 ○バイオエネルギーをつくる ○みんなで考える
- 高浜市に潜在する社会問題の顕在化→ゴールの明確化と指標策定→高浜市内の資源(産業、団体、等のパートナーシップ強化)
- 再生可能エネルギーにきりかえる。ソーラーパネルを義務化する。
- 今回のようなイベントが増えると良いと思います。 ○発信力の強化 ○情報の共有化
- まちで到達する目標を決め実行していく ○若い人にも興味を持ってもらう
- 市民一人一人の意識を変えていく必要があると思います。
- 全世代とすると少し大変な気がするので、市の未来を担う子ども達に授業の中の取り組みとして入れられると良いのではないのでしょうか
- あらゆる所で SDGs を行って行けば良いと思う ○SDGs 進めていく為全員の協力
- 1、適切な目標設定2、行政側の理解度底上げ、共有3、市議の本質理解度の底上げ
- 4、住民への行動変容呼びかけ→具体的な行動例、指示、ホコタッチのようなポイント等の楽しみを付加する。5、国や県の補助を徹底的に調べての予算確保→高浜モデルを確立→全国へ発信していく○市民と行政が一緒になって取り組むこと ○みんなで助けあうこと
- 大勢の市民と多くの対話を実施し、意見を聞くこと
- 発信していく。推進していく。コミュニティを作り、まきこんでいく。運動を起こす。
- 行政でやるだけでは限界があるので、市民、企業と一体になって達成する
- SDGs だけでは困難なので色々な手法を取り込んで推進を心掛けた方が高浜らしい
- 全体最適になるようなマネジメント○認知することが大切だなと思いました
- SDGs という横文字だけだとわかりにくい気がする ○バリアフリーな公共施設
- 高浜市は人口が少ない分、市民の方に SDGs を知ってもらうことは、人口が多い自治体よりやりやすいのではないかと思います。SDGs と聞くと難しそうに感じてしまいますが、今回のカードゲームはとても楽しくできたので、またイベントを行ったり小中学校の授業等で行うなどすれば、興味をもってもらえるのではないかと思います。
- ゲームをやって感じたことは 目標を決め協力してやれば全てのチームがクリアできると思った。リーダーのもの各チームが資源と財産を持ちより適切に再配分すれば走りまわらなくても良いのにと遅ればせながら気付いた
- SDGs ゲームを普及させ市内の小中学校や各サークルなどで楽しく体験
- 高齢者がデジタル機器の取り扱いに慣れて、生活がより豊かになるお手伝いをする。
- 今回だけではよくわからないまま終わってしまったので、SDGsゲームをまた開催してほしい。学校や企業でやるなど。

開催日時アンケート結果 ○の合計(行政職員をのぞく)

平日夜《12》土曜午前中《13》土曜昼間《19》日曜午前中《11》日曜昼間《11》

→今後は土曜日昼間を中心に開催していきます

(030522)
第3回審議会

資料3